

その時どうする？ ～火災が発生したら～

出火の現場に居合わせたら、まず「通報」「初期消火」「避難」が大切です。その優先順位は状況により異なります。出火直後なら「通報」と「初期消火」の優先順位が高くなりますが、そのために逃げ遅れては大変です。あわてず冷静な判断を心がけましょう。

○火災を発見したとき

- ・大きな声で「火事だー！」と叫び、周囲の人に知らせましょう。
- ・声が出ない場合は、非常ベルや音の出るもの（やかん・鍋等）を叩きましょう。
- ・どんなに小さな火事でも119番通報をしましょう。

<119番通報の例>

消防署	通報者
火事ですか、救急ですか？	火事です。
場所（住所）はどこですか？	〇〇市〇〇町〇丁目〇番地です。 〇〇のそばです。
何が燃えていますか？	家が燃えています。
どのくらい燃えていますか？	2階窓から炎が噴き出しています。 1階には火が見えません。
逃げ遅れやケガ人はいませんか？	皆、無事に避難しています。
あなたの名前と電話番号を教えてください。	関電太郎です。06-1234-××××です。

- ・火が天井に達していないうちに消火器等で消火します。
- ・浴槽などの汲み置きしている水や座布団など、身近なものを最大限に活用しましょう。
- ・火災による死因の大半は、煙やガスによる中毒死や窒息死です。煙が広がっている場合は、火元の方を判断し、早く避難しましょう。
- ・避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断します。
- ・服装や貴重品の持ち出しにこだわらず、できるだけ早く屋外に避難してください。
- ・一度避難したら、絶対に家の中に戻らないようにしてください。
- ・煙が出ているときは、ハンカチや衣服で口と鼻をおさえ、できるだけ姿勢を低くして逃げましょう。

